



あたらしいとしをたのしもう!

はにゆうしりつとしょかん

【おしょうがつ】

「あけましておめでとう」

中川ひろたか/文 童心社 E/ア

今日はおしょうがつ。おせち、おぞうに、おとしだま、はつもうで、はねつき、かるたとり…。一年のはじまりの日。いつもとちがうあたらしいきもち。だからあけましておめでとう!



「おしょうがつセブン」

もとしたいづみ/作 世界文化社 E/オ

子どもたちのところへやってきた「おしょうがつセブン」。おせち料理をみんなで食べるとき、黒豆や昆布巻きなどの由来や意味を教えてください…。



「七ふくじんとおしょうがつ」

山末やすえ/作 教育画劇 E/キ

お年玉で買ったたこをあげたら、七福神がやってきて、とつてもにぎやかなお正月になったよ。おせち料理の意味や年神さまのことなど、お正月の由来を紹介。



「おせちいっかのおしょうがつ」

わたなべあや/作 佼成出版社 E/オ

大みそかに家族みんなでおせちの準備をするのはこださんち。重箱の中では、たくさんのおせち料理たちも大忙し!さて、おせち一家はどんなふうにお正月を迎えるのかな?



「おしょうがつのかみさま」

おくはらゆめ/作 大日本図書 E/オ

お正月の神さまは、毎年毎年、姿を変えてやってくる。動物たちは、おうちをきれいに掃除して、しめ飾り、かまど門松を飾ってお正月の神さまを呼びます。



「お正月さんありがとう」

内田麟太郎/作 岩崎書店 E/オ

「おじいちゃんと来年もレンゲ畑に行くもーん」大好きなおじいちゃんが早く元気になるように願うあやちゃん。するとどこからか笑い声が聞こえてきて…。



【えと・うさぎ】

「十二支のはじまり」

高谷まちこ/文 ハッピーオウル社 E/ジ

今も生活の中に残る十二支。日本には昔から各地に、面白い「十二支のはじまり」のお話がありました。十二支が決まっていく様子を、わかりやすく描いた絵本♪



「十二支のしんねんかい」

みつききみ/文 こぐま社 E/ジ

「とら」えられない速さで千里をかける寅、「み」をくねらせてによりにより動くへび、福を「とり」こむ酉…。語呂のよいことばにのせて、十二支の動物たちを紹介!します。



「十二支のどうぶつゴールをめざせ!!」

広瀬克也/作 星の環会 E/ジ

「これから新しい年を祝うレースを行う」年の暮れ、神さまの宣言で、ねずみ、うし、とら、うさぎなど、車に化けた動物たちが一斉に走り出し…。



「うさぎちゃん」

せなけいこ/作 金の星社 E/ウ

女の子が、うさぎに話しかけます。たくさん食べて、大きくおなり。もっともっと大きくなったら、部屋いっぱいになっちゃう…。夢が広がるせなけいこさんの絵本。



「うさぎちゃんとゆきだるま」

あいはいひろゆき/文 教育画劇 E/ウ

今年のはじめての雪が降りました。まっ白くて、きらきらの雪でした。「わあ、きれい」うさぎちゃんは、お気に入りの赤い帽子と赤い手袋をして、お外に出かけました…



「うさぎがそらをなめました」

あまきみこ/作 フレーベル社 E/ウ

ある日、えりこは野原に空色のハンカチを忘れてしまいました。野原ではうさぎが大騒ぎ。「これがそらかあ」「そらがおちたのかあ」ハンカチは、どうなるのでしょうか?



「うさぎのおうち」

マーガレット・ワイズ・ブラウン/文 ほるぷ出版 E/ウ

春のあかるいひざしのなか、こうさぎが自分の家を探しにでかけました。でも、うさぎにぴったりの家は、なかなか見つかりません…。



「ゆきのひのうさこちゃん」

ディック・ブルーナ/文 福音館書店 E/ブ

ゆきのなかで遊ぶうさこちゃん。ゆきだるまにはにんじんで鼻をつけ、寒くて泣いていることには家を建ててあげて…。

